

国立市議会議長 高柳貴美代 様

国立市におけるごみ分別ルールは、「容器包装プラスチック」と「不燃ごみ」の仕分け概念を理解する難易度が高く、分別ルールの理解を落とし込むのに困難・苦労が生じている状況のため、ごみ分別学習会・講習会の定期開催を国立市に求める事に関する陳情

陳情の趣旨

ごみ分別ルールは、自治体によって異なっており、その自治体の個性・特色が出る分野である。また、ごみ袋の有料・無料についても自治体によって異なり、環境政策に対する考え方・向き合い方が表れやすいのが、ごみ処理・ごみ分別行政であると認識している。

近年では、地球温暖化等の気候変動に対する関心が年々高まっており、いままで「ごみ」と認識していたものを、「資源」として捉え直す機運があります。また、環境問題解決に向けた技術開発も活発に行われており、そういった分野を「成長分野」として投資する動きも活性化しています。

身近なところから、環境問題に貢献したいと考えた際、日々のごみとの向き合い方・考え方を見直していくことが必要であると考えています。また、出来るだけ、日々のごみを出す量を減量する方法を試行錯誤しながら自身も考えているところです。

国立市では、ごみ分別ルールにおいて、「水色の袋」（容器包装プラスチック）がありますが、水色の袋には何を捨てればいいのかわからない、というのが正直な感想です。「黄緑色の袋」（不燃ごみ）との違いに日々悩んでいます。

国立市においては、「くにたち ごみの分け方・出し方カレンダー」を全戸配布頂き、ゴミ分別の際は索引より確認を行っています。基本的には索引で判断は出来るのですが、出そうとしているごみが「プラごみ」マークがあるのにも関わらず、「なぜ、このごみがプラごみではなく不燃なのか」という根本的な疑問が生じた際、ごみ分別学習会等の機会があると、質問しやすく、よりごみ分別

行政への理解を深めることができと思っています。

また、新たに国立市に転入されてきた方にとっても、「くにたち ごみの分け方・出し方カレンダー」を渡しただけでは、ごみ分別ルールを理解するのも大変だと思うので、ごみ分別ルールで分からないことが発生した際の疑問解決の場が必要です。また、定期的（例えば月1回開催）にごみ分別学習会を開催頂けると、「今月は予定があって行けなかったけど、来月に行こう」となるため、定期的にごみ分別学習会を開催頂けると助かります。

陳情事項

- 1, 国立市におけるごみ分別ルールは、「容器包装プラスチック」と「不燃ごみ」の仕分け概念を理解する難易度が高く、分別ルールの理解を落とし込むのに困難・苦勞が生じている状況のため、ごみ分別学習会・講習会の定期開催を国立市に求めます。定期開催の頻度は、当局に一任します。
- 2, ごみ分別に関する最新情報・最新の知見等を当局にて把握された際は、日々のごみ分別に活かす・学ぶ観点から市民向けに積極的な情報発信をお願いいたします。